

武高の大先輩から著書が届きました。

文責 学校長



～青山学院大学・副学長・林伸二名誉教授に感謝～

1 本校卒業の大先輩から著作(二種類)を寄贈していただきました。

2月2日(火)に、本校の卒業生で青山学院大学の副学長で名誉教授の林伸二先生から、「母校の後輩のために」とご自身の著書『自立力～思春期 青年期の問題と、その解決策～』・『自信～自己効力感を高め、仕事に成功する秘訣』の二冊を贈呈していただきました。林先生のご専門は臨床心理学、社会心理学で他にも多くの著作を出版されています。先生のお手紙には「もし子供たちの中に、勉学やスポーツで優秀だがもっと伸ばしてやりたい、劣等感を取り除いてあげたい、学校生活をもっと楽しいものにしてあげたいとか、さらには進路や人生、友人関係に迷っていたり、勉学の意味を見失っていたり、あるいはまた無為に学生生活過ごしている、などといった者がいれば、本人のみならず学校の先生方、または親はどうすればよいのか、について明らかにした内容の本です。」と紹介してあります。図書館に展示していますので、ぜひ読んでみてください。林伸二大先輩、ありがとうございました。



2 武雄高校生のマナーは大丈夫？

最近、武高生の学校外でのマナーについて、ご指摘をいただくことがあります。電車や登下校時にマスクを着けていない、武雄市図書館でマスクもせず会話しているなどといったご指摘です。コロナ禍のマナーを意識しましょう。

3 今週のお話成語・・・「朝令暮改」【問題】「朝令暮改」を英語で表現すると？

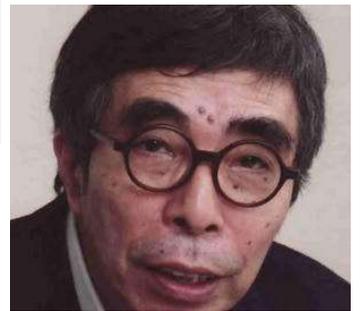
命令や法律が次々と変わってあてにならぬこと。朝出した法令をもう夕方には改めること。
(出典：『漢書・食貨志』より)

【由来】「朝令暮改」ともいいます。朝令暮改という言葉は、「漢書」という中国の歴史書に書かれている故事に由来します。右がその原文です。現代語訳すると「農民の苦労はこのように大変なものであるのに、その上水害や灌漑に苦しめられ、加重な税を性急に求められ、しかもそれが頻繁であり、朝出された命令が夜には変更されているといったありさまです。」となります。この文は前漢の文帝・景帝の家臣晁錯(ちょうそ)による文帝への上奏文です。当時役人などによる農民への搾取が激しく、多くの農民が窮迫し、流民化していくさまを危惧した晁錯がこれを放っておいては大変だと文帝に訴えたものです。

〔白文〕勤苦如此 尚復水旱之災 急政暴賦 賦斂時ならず、朝に令して而も暮に改む。
〔書き下し文〕勤苦此の如くなるに、尚復た水旱の災あり、急政暴賦、賦斂時ならず、朝に令して而も暮に改む。

4 今週の名言・・・井上ひさし(山形県出身)の言葉です。

○私はすべての芸術は、全人類にとまでは言わなくても、少なくともそのサポーターたちにほんの少し、生活のヒントを与えるのが仕事だと考えています。



【解説】幼い頃のNHKの人形劇「ひょっこりひょうたん島」の脚本家としての記憶が強い。「ムーミン」「忍者ハットリくん」「ひみつのアッコちゃん」「アンデルセン物語」の主題歌の作詞でも有名。個人的には「全国統一話し言葉」作成を命じられたとある文部省官吏の苦闘を描いたNHKドラマ作品『国語元年』は興味深かった。昭和時代のエンターテインメント作家として一世を風靡した作家の仕事観を象徴する言葉です。

【井上ひさしについて】1934年生まれ。日本の小説家、劇作家、放送作家である。文化功労者、日本芸術院会員。本名は井上 廈(いのうえ ひさし)。遅筆堂(ちひつどう)を名乗ることもあった。『ひょっこりひょうたん島』の脚本を手がけ、1964年4月から5年間放映される国民的人気番組となる。『ムーミン』の主題歌『ムーミンのテーマ』により第12回日本レコード大賞童謡賞を受賞。1981年、『吉里吉里人』により第2回日本SF大賞、第33回読売文学賞を受賞。他に『ブンとファン』・『ドン松五郎の生活』・『偽原始人』・『四千万歩の男』・『ナイン』など。

5 入試によく出る漢字・・・『頻出ベスト100』から・その4 いくつか書けますか？

- ①空気がカンソウしている。
- ②人生最大のキキに遭遇する。
- ③夏休みにキセイする
- ④この時代の作品のキチョウをなす思想。
- ⑤条件とそのキケツの関係になる。
- ⑥人情のキビに触れる。
- ⑦カンジョウを払う。
- ⑧試験には落ち着くことがカンヨウだ。
- ⑨イギをただして慰霊塔に花輪を捧げる。
- ⑩合格してユウエツ感にひたる。
- ⑪外国文学をホンヤクする。
- ⑫太宰の作品では「斜陽」がアッカンだ。
- ⑬キボの大きい会社に就職する。
- ⑭生活のキバンを整える。
- ⑮彼についてはおもしろいイツワがある。
- ⑯そのことはキセイの事実である。
- ⑰キュウゲきな腹痛におそわれる。
- ⑱ミラク的なリズムの音楽。
- ⑲昔気質でキュウクツな家だ。
- ⑳マイ自然のままの世捨人の生活。

6 今週の一冊…角田光代氏の『対岸の彼女』(文春文庫)です。

専業主婦の小夜子は、ベンチャー企業の女社長、葵にスカウトされ、ハウスクリーニングの仕事をするが…。結婚する女、しない女、子供を持つ女、持たない女、それだけのことで、なぜ女どうし、わかりあえなくなるんだろう。多様化した現代を生きる女性の、友情と亀裂を描く傑作長編。第132回直木賞受賞作。

(参考：本書裏表紙説明より)

【解説】先週に引き続き直木賞作品を紹介します。「八日目の蟬」や「紙の月」「坂の途中の家」「かなたの子」など数多くの作品がドラマ化・映画化されている人気作家です。その著者の第132回直木賞作品を読んでみました。本書は二人の女性の出会いと友情が、些細なことから亀裂を生じていき……。最後には少しほっこりする読後感の良い作品です。多様化した現代を生きる女性の姿を描く感動の傑作長篇です。この作品もすでに WOWOW でテレビドラマ化されており、夏川結衣、財前直見が主演を務め、堺雅人、根岸季衣、木村多江、香川照之、国分佐智子、多部未華子の豪華スタッフが共演しています。平成18年度芸術祭テレビドラマ部門の優秀賞を受賞しています。

【作者・角田光代について】1967年神奈川県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。90年『幸福な遊戯』で第9回海燕新人文学賞、96年『まどろむ夜のUFO』で第18回野間文芸新人賞、98年『ぼくはきみのおにいさん』で第13回坪田譲治文学賞、『キッドナップ・ツアー』で99年第46回産経児童出版文化賞フジテレビ賞、2000年第22回路傍の石文学賞を受賞。03年『空中庭園』で第3回婦人公論文芸賞、05年『対岸の彼女』で第132回直木賞、06年「ロック母」で第32回川端康成文学賞を受賞。(参考：本書著者紹介より)

7 日本全県の名所とスイーツめぐり…第43回は山形県です。

○名所

(参考：「ぐる旅」その他より)

◆**銀山温泉**・・・大正時代の面影を色濃く残す木造建築旅館が多く立ち並んでいる温泉街。江戸時代かつてこの地にあった延沢銀山で働いていた工夫が、銀山川の中に温泉の湧出を発見しました。それが、銀山温泉のはじまりだと言われています。ガス灯がともる夕暮れ時には、まるで大正時代にタイムスリップしたかの様に街の雰囲気が変わります。NHKの連続テレビドラマ『おしん』の舞台としても非常に名高く、全国から多くの観光客が訪れています。

◆**山寺(宝珠山 立石寺)**・・・出羽名刹三寺として名高い山寺は、正式には宝珠山立石寺と言います。平安時代の初期、貞観2年(860年)、第56代清和天皇の勅願によって慈覚大師・円仁(えんにん)が開山しました。立石寺は、一山の総称であるため、その名の堂宇はありません。「**根本中堂**」が立石寺の本堂で、中心道場なのです。本尊の薬師如来のほか、伝教大師や文珠毘沙門の諸像が安置されています。立石寺は、松尾芭蕉ゆかりの地としても有名です。元禄2年(1689)、おくのほそ道をたどり、山寺を訪れた松尾芭蕉は次の句を詠みました。「**閑さや岩にしみ入る蟬の声**」このことを記念し、嘉永6年(1853)に門人たちが句碑を建てました。

○スイーツ・土産

【さくらんぼ・きさら】山形と言えばさくらんぼの名産地です。そんな山形産のさくらんぼがゼリーの中にまるごと入っている可愛いお菓子が「さくらんぼ・きさら」です。透明なゼリーの中に赤いさくらんぼがきらりと光る、見た目にも可愛らしい涼やかなお菓子です。生のさくらんぼをお土産にするのは日持ちの問題などで難しいかもしれませんが、こちらは日持ちもしますし手軽に持ち帰れます。大人数に配りたい時にもオススメです。

【乃し梅】山形の古くからある定番のお土産といえば、銘菓「乃し梅」が代表的です。江戸時代、文政年間創業という「**佐藤屋**」は、山形城下に広まった乃し梅を販売する菓子屋の中で最も古いとされる**老舗中の老舗**です。もともとは山形城の御殿医が気付け薬として持ち込み、その子孫により民家薬として広まったものを食べやすいお菓子にしたのが乃し梅の始まりです。厳選された山形産の完熟梅と砂糖、寒天のみを使ったシンプルなお菓子で、透き通った美しい姿はご年配や目上の方へのお土産にも最適です。梅に砂糖と寒天を練り込み、ガラス状にして作ります。薄い琥珀の色が、なんとも言えない懐かしい感じを引き出しています。食感はグミのような感じで、一つ一つが竹皮に包まれ、開けると竹のいい香りがします。

8 保護者の皆様へ…コーヒー&お菓子の差し入れを！

1・2年生は学年末考査へ向けて、3年生は大学入試に向けて勉強の日々が続いています。勉強は睡魔との闘いでもあります。眠気覚ましにコーヒー&お菓子の差し入れをよろしく願いいたします。

【表面の問いの答】※ inconsistent policy (一貫性がない政策) The law is not the same at morning and at night.

- | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ①乾燥 | ②危機 | ③帰省 | ④基調 | ⑤帰結 | ⑥機微 | ⑦勘定 | ⑧肝要 | ⑨威儀 | ⑩優越 |
| ⑪翻訳 | ⑫圧巻 | ⑬規模 | ⑭基盤 | ⑮逸話 | ⑯既成 | ⑰急激 | ⑱魅惑 | ⑲窮屈 | ⑳無為 |